

令和 2 年度  
阪南市外部評価委員会  
報告書

令和 2 年 8 月

阪南市外部評価委員会

## 1. 答申書の提出にあたって

阪南市外部評価委員会は、評価視点の多角化により行政評価の客観性を向上し、総合計画の実効性を高めるため、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき設置された。具体的には、総合計画に掲げられた施策に関する内部評価を検証することが主な役割である。

令和 2 年度は、7 月 7 日（火）に市長の諮問を受け、令和元年度の内部評価結果について検証するために、計 4 回の委員会を開催した。委員会では、外部評価の対象とする 4 施策を選定したのち、評価対象とした施策に関する担当課へのヒアリングを実施し、評価シートとヒアリングの内容を踏まえた審議を行った。

審議の結果、総合計画で掲げた目標の達成に向けて、とくに重要な課題があり、迅速な対応が必要である施策、これまで以上に積極的に具体的な活動に取り組む必要がある施策については、外部評価の判定区分を「－：施策のめざす姿に近づいていない」とした。また、一定の成果は認められるものの、まだ解決すべき重要な課題が残っている施策は「★：施策のめざす姿にやや近づいている」とした。

今年度に評価対象とした施策すべて、総合計画に記載した目標の達成に向けて、これまで以上にさらなる取り組みの充実が必要であると委員会が判断した結果である。さらに、これらの評価結果をわかりやすく職員や市民に説明し、今後の施策の実施にあたって積極的に活用するとともに、次期総合計画の策定につなげることを期待する。

また、評価結果を施策の見直しに積極的に活用するためには、多くの関係者が行政評価の仕組みを理解し、内部評価及び外部評価の精度を向上させて納得できる評価結果を導き出すことが重要となる。今年度の外部評価の実施結果を踏まえ、行政評価の仕組みそのものについても PDCA サイクルを取り入れ、継続的に見直しを進めることを要望する。

最後に、この外部評価委員会の答申が、総合計画に掲げた将来の都市像「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南」の実現に向け、十分に活用されることを期待したい。

令和 2 年 8 月 20 日

阪南市外部評価委員会

## 2. 答申（対象施策の評価結果）

施策名 (施策コード)	生涯学習の推進 (403)	内部評価	★★	外部評価	★
判定理由	<p>“生涯学習”の範囲は広く、多岐にわたって多様な取り組みを進めておられること、また、図書館や公民館などを中心に、すでに生涯学習に取り組んでいる市民との連携が広がっていることは高く評価できる。</p> <p>しかし、図書館や公民館の一部が、新しいことを敏感に取り入れ、今後の方策を考えてはいるものの、事業への参加者、施設利用者の減少や固定化という問題が継続している。生涯学習の理念に基づき、事業に参加していない市民、施設を利用していない市民に学びの機会を提供する余地がいまだ大きいことから、「施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p> <p>今日、そしてこれからの社会において生涯学習が重要であることは外部評価委員全員が認識している。だからこそ、これまで以上に阪南市民に学びを広げる取り組みを、市民と協力しながら進められるよう期待したい。</p> <p>加えて、阪南市における学びを継続させるためにも、学びに関わる市民の世代交代の準備にも取り組んでいただきたい。</p>				
委員提案 (令和3年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウィルスとの共生時代も見据え、ICTを活用した学びの機会が提供できるよう取り組んでいただきたい。</li> <li>・ICTの活用やテーマ設定の工夫などにより、今まで以上に若年層が参加しやすくなるよう取り組んでいただきたい。</li> <li>・市民の学びに対する関心を高めるためにも、例えば防災やコロナ禍における生活様式など、市民が知りたい、学びたいという内容を講座などで積極的に提供していただきたい。</li> <li>・参加者・利用者の意見だけでなく、参加していない、利用していない市民の現状やニーズを把握し、それを踏まえて事業を実施することで参加者・利用者の増加を図られたい。</li> </ul>				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 100 人のカルチャーについて、登録者に周知方法や公民館講座等などの活躍できる場を提供するなどして、積極的に活用いただきたい。</li> <li>・ 阪南市で収穫される野菜や海産物を活かした食育の機会を充実させ、健康への関心を高めることも検討されたい。</li> <li>・ 阪南市役所だけ、阪南市内だけで提供できる学びの種類や場には限りがあると考えられるので、他自治体や大学など他機関との連携協力をすすめるとともに、その情報を積極的に提供することも検討されたい。</li> <li>・ 生涯学習として多様な取り組みをすすめておられるが、投入できる資源に合わせメリハリをつけて事業を展開することも検討されたい。</li> </ul>
--	---

施策名 (施策コード)	観光の振興 (501)	内部評価	★	外部評価	★
判定理由	<p>平成28年度に外部評価のヒアリングを実施した時点と比較して、多様な主体との連携のもと、観光振興や交流増加に向けた取り組みが具体化し、個々に効果が生じてきている点は評価できる。</p> <p>しかしながら、担当課も認識しておられたとおり、それらが、施策の目的としている交流人口の増加や地域経済の活性化につながっていることまでは確認できず、十分な成果が出ていると言い切ることは難しい。</p> <p>以上より、内部評価と同じく「施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p> <p>阪南市の有する豊かな自然環境といった強みを活かして市の魅力を向上させ、明確なターゲットにPRすることで交流人口の増加、ひいては経済効果につなげることを期待したい。</p>				
委員提案 (令和3年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の事業実施にあたっては、十分な分析を行ったうえで明確にターゲットを定め、効果的な広報戦略を行うなど、訴求力の高い方策を十分に検討されたい。</li> <li>・和歌山県および県内の市町村との連携を深め、そこでのPRを積極的に行うことも検討されたい。</li> <li>・わんぱく王国については、今後、行財政構造改革プランに沿って借地の解消に努められたい。</li> <li>・阪南市の魅力の一つである自然を活かし、体験型の観光を進めることも検討されたい。</li> <li>・京奈和自動車道の利用者を考慮し、奈良県及び県内の市町村に対するPRも検討されたい。</li> </ul>				

施策名 (施策コード)	公共交通の利便性向上 (606)	内部評価	★★	外部評価	★
判定理由	<p>公共交通のうち、コミュニティバスの運行について、市民のニーズを把握し、定期的な見直しを行うとともに利便性を高めるための工夫を行っていることは評価できる。また、交通事業者との調整や尾崎駅周辺の利便性向上、山中溪駅舎の改装などにも着実に取り組んでいることがわかった。</p> <p>しかし、市民のニーズに沿った運行とするための見直しを継続的に実施する必要があることに加え、「公共交通」に限定するあまり、福祉有償運送や地域で取り込まれる移送サービスとの連携がほとんど考慮されていないため、「施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p> <p>公共交通の重要性や事業者の撤退を防ぐべく対策を講じることの必要性は理解するところであるが、今後、ますます高齢社会が進展することを見据えると、狭義の公共交通にとどまらず、広い視野で市内全域の移動手段を確保することが、市全体の活性化や社会保障費の抑制に大きな影響を与える、重要な課題であると考え。公共交通と他の移送サービスとの接続を良くすることで、公共交通の利便性向上にもつながるだろう。</p> <p>そのためにも、まずは、庁内にとどまらず、事業者や社会福祉協議会、地域、さらには新しい形態の事業者といった多様な主体との協力・調整を、既存の取り組みと並行して早急に進められたい。</p>				
委員提案 (令和3年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化、高齢者の免許返納を考えると、市民にとってコミュニティバスはありがたい存在である。存続できるよう、取り組んでいただきたい。</li> <li>・市民の声と事業の効果・効率性のバランスを十分に考慮して、事業の実施を検討していただきたい。</li> <li>・コミュニティバスについては、需要にあった利用者数を増やす取組を行うことに加え、提案型も含めた収入の確保を検討いただきたい。</li> </ul>				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阪南市役所全体で、公共交通の在り方や今後の市内の移動手段をどう確保するかについての共通認識をもてるよう、早急に調整していただきたい。また、それを新しい総合計画の施策に反映させることを提案したい。</li> </ul>
--	--

施策名 (施策コード)	持続可能な財政運営 (703)	内部評価	★★	外部評価	—
判定理由	<p>行財政構造改革プランを作成し、その実現に向けた取り組みが一定の効果をあげていること、また成果指標である市税収納率および経常収支比率の実績値が向上していることは評価したい。</p> <p>しかし、これまでも外部評価委員会で指摘した基金に頼った財政運営が改善されておらず、財政調整基金は近く枯渇するという状況にある。災害時の対応を考えると財政調整基金の残高は3億円必要という説明があったが、毎年度の歳入歳出のバランスを整え、基金残高を3億円とするためには、現行の行財政構造改革プランの着実な推進は当然のこととして、さらなる強力な取り組みが必要となる。</p> <p>以上を踏まえ、「施策のめざす姿に近づいていない」と判断した。</p> <p>コロナ禍により、市の財政状況はこれまで以上に悪化することが想定される。持続可能な財政運営が可能となるよう、阪南市役所全体が今まで以上に危機感を持って取り組むべきである。</p> <p>また、その際には、市民に十分な説明を行い、理解や協力を得ながら進めることが重要である。</p>				
委員提案 (令和3年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行財政構造改革プランの進捗管理に際しては、個々の実施項目に変更が生じた場合は対策を講じるなど、目標期限に予定していた効果が生じるよう取り組んでいただきたい。</li> <li>・ 歳出削減にも限界があることから、新たな歳入確保策についても早期に検討いただきたい。</li> <li>・ 今後の制度変更等も見据え、ふるさと納税に頼りすぎない財政運営につとめていただきたい。</li> <li>・ 成果指標に基金残高を加えることを検討していただきたい。</li> </ul>				



### 3. 阪南市の行政評価制度について

外部評価も5回目の取り組みであるが、平成29年度に実施した4回目から2年たったこともあってか、職員の理解を再度深めるための取り組みの必要性を感じたところである。まずは今年度の外部評価の結果を全庁で共有していただきたい。

今後、より一層精度と効果の高い行政評価制度とするために、評価の仕組み全体について改善すべき点は以下のとおりである。

ここで指摘した事項にどのように対応したかについては、次年度の内部評価実施前に報告していただきたい。

#### ① 施策の判定に関して

行政による内部評価と外部評価委員による外部評価の判定に違いが生じた施策が多く見られた。その原因として、施策のめざす姿を達成するうえで残された課題の重要性に関する認識の違い、具体的な取り組みを評価するのかそれらの成果を評価するのかの違いなどが考えられる。事務局は、判定の考え方や内部評価において検討すべき点を明示するとともに、ヒアリング実施時に十分な問題提起を行って欲しい。

#### ② 外部評価を実施する施策件数に関して

本年度は、新型コロナウイルス感染症による影響で、開始時期が遅くなり、ヒアリングのための委員会は2回開催となった。次年度については、評価対象とすべき施策の数に合わせて、開催回数を追加することや、委員会の開催時刻を繰り上げ、時間を確保するなど、外部評価委員が施策の現状と課題を理解した上でより的確な評価を判断することができるよう検討されたい。

#### ③ 成果指標に関して

施策に設定された成果指標は、施策のめざす姿の達成状況を計測するためのものというより、主な事務事業の活動指標が多いという印象を受けた。

今年度から予定されている総合計画の見直しにおいては、まずは施策のめざす姿を具体的に考えたうえで、その達成状況しっかりと検証できる指標を、他団体用いている指標等を参考にしながら、設定していただきたい。

#### ④ 評価シートの構成に関して

本来施策評価は、施策のめざす姿を踏まえて、当該年度にどのような取組方針を作成し、取り組み方針を受けて施策をいかに実現し、どのような効果があったかをPDCA サイクルに沿って検証するものであり、評価シートはそれができる構成となっている。自己評価を実施する際には、評価シートとその構成の意図を十分に理解、意識していただきたい。

また、市の財政状況の現状を踏まえると、どの施策にどの程度のコストがかかっているのかを踏まえて評価を行う必要があると考える。施策の実施に係るコストの情報を施策シートに加えることを検討いただきたい。

#### 4. 令和2年度 阪南市外部評価委員会開催日程

開催日時等	委員会の議事
第1回 7月7日（火） 18時30分から （会場）市役所本庁3階 全員協議会室	①開会あいさつ ②委員紹介 ③市長から委員長へ諮問 ④外部評価実施要領について ⑤外部評価施策の選定
第2回 7月22日（水） 18時30分から （会場）市役所別棟2階 第3・4会議室	① 担当課ヒアリング 第5章 施策1 「観光の振興」 第7章 施策3 「持続可能な財政運営」 ② 判定区分等について協議
第3回 7月28日（火） 18時30分から （会場）市役所本庁3階 全員協議会室	① 担当課ヒアリング 第4章 施策3 「生涯学習の推進」 第6章 施策6 「公共交通の利便性の向上」 ② 判定区分等について協議
第4回 8月11日（火） 18時30分から （会場）市役所本庁3階 全員協議会室	① 外部評価（ヒアリング）結果（案）のとりまとめ ② 外部評価委員会の振り返り ③ 市長への答申の取り扱い ④ 会議録（案）の確認

【阪南市外部評価委員 \*五十音順】

氏 名（敬称略）	区 分	備 考
尾川 富美子（おがわ ふみこ）	市民	
掛谷 純子（かけや じゅんこ）	学識経験のある者	副委員長
木村 耕造（きむら こうぞう）	市民	
寺田 雄揮（てらだ ゆうき）	市民	
壬生 裕子（みぶ ひろこ）	学識経験のある者	委員長